

ルーツは滝川にあり

味付ジンギスカン！



道民の代表的な郷土料理、ジンギスカン。北海道遺産にも登録されており、野外行事や宴会の席など、誰もが鍋を囲んで食べたことがあるのではないだろうか。

その中でも、羊肉をタレに漬け込んで食べる「味付ジンギスカン」の文化は滝川が発祥地とされている。

今回の特集では、味付ジンギスカンの歴史や滝川がルーツといわれる由縁など、さまざまな話題をお届けします。

綿羊百万頭計画

北海道で初めて羊肉が食べられたのは大正時代といわれています。当時、羊毛は軍服の大切な素材として使われていましたが、第一次世界大戦を機に輸入が途絶えたことで保温や撥水に優れた羊毛を国内で生産・供給することが急務となりました。

そこで政府は、綿羊の飼育を奨励する「綿羊百万頭計画」を策定。国内5か所に種羊場を開設することで、羊毛の国内自給を目指したのです。この5つの種羊場のうち、一つが私たちの住む滝川に開設されました。

羊肉の活用

種羊場の開設により滝川は大量の羊毛生産を可能としました。同時に、関係者の間では羊毛以外での羊の活用」について考えられるようになり、その結果、羊肉の活用についてさまざまな研究がされることになったのです。

ジンギスカン

烤羊肉（カオヤンロウ）という中国料理があります。これは薄く大きく切った羊肉を、しょ

うゆなどに漬けて焼いて食べる料理です。諸説ありますが、ジンギスカンは満州に渡った日本人が烤羊肉をヒントに、国民の舌に合うようアレンジした料理といわれています。

当時の羊肉料理に対する反応

滝川で最も早く羊肉の試食が行われたのは昭和初期に小公園（現・平和公園）で行われた「家畜品評会」だといわれています。

そこでは、羊肉とこんにやくを串刺しにしたおでんなどが売られていましたが、かつての日本では、羊肉料理を食べる習慣が定着しておらず「羊肉はくさくて食べられない」という認識が一般的で、多くの人に愛される料理とは言い難いものでした。

タレに漬け込むジンギスカンの誕生

タレに漬け込むジンギスカンのレシピは、かつての滝川種羊場長・山田喜平さんが1931年（昭和6年）に発行した『綿羊と其飼ひ方』に書いたものが始まりとされています。

当時のレシピには「羊肉は一分位の厚さに切り醤油、酒、砂糖、七味唐辛子を合せて中に約三十分浸しておく、（漬け汁はとっておくべし）焦げつかぬやう金網に胡麻油を塗って強火の七輪にかけ漬け汁をつけながら肉の両面を焼いて食べる。（原文）」と書かれています。このレシピがルーツとなり、羊肉のくさみを消すタレ漬け方式の文化が推し進められることとなりました。

味付ジンギスカンの普及

1935年（昭和10年）には綿羊事業の拡大政策の一つとして綿羊実習生規程が公布され、種羊場の綿羊実習生による料理研究や羊肉宣伝が盛んになるな

ど、タレに漬け込むジンギスカンの普及は加速していきます。

その中でも、普及に貢献したとされるのが、1956年（昭和31年）創業の松尾羊肉専門店（創業・松尾政治社長）です。味付ジンギスカンの歴史を振り返る際、「ルーツは滝川種羊場、普及は松尾ジンギスカン」という表現がよく用いられるように、松尾羊肉店が果たした役割は大きなものでした。

昭和27年、綿羊組合長・長谷川重之さんの自宅にて初めて味付ジンギスカンを口にした松尾社長は、その味に感銘を受け、これを広めるべく企業化を思い立ちます。

タレ作りに取り組み、改良を重ね完成した「松尾ジンギスカン」は、創業同年5月、滝川公園の花見会場にて売られた際に、大盛況を博しました。

その後、道内には多くの松尾ジンギスカンの支店ができ、やがて味付ジンギスカンは、滝川の代表的な郷土料理となったのです。

あなたはどのくらい知っていますか



Q ジンギスカン Quiz



ここまでジンギスカンの歴史についてまとめてきました。このコーナーではジンギスカンにまつわるクイズを出題！全問正解した方には、世界に一つだけのオリジナル表紙データをプレゼント！ぜひチャレンジしてみてください！

クイズ1 生後1年未満の羊肉の名称は？

①ホゲット ②ラム ③マトン

クイズ2 ジンギスカン発案のヒントとなった中国料理の名前は？

①マイヌガー ②カオヤンロウ ③ホイコウロウ

クイズ3 ジンギスカンが好きな滝川市のご当地キャラといえば？

①羊神ラムチョップ ②羊神ジンギリバー ③羊神マトンキック

クイズに正解して、オリジナル表紙をゲットしよう！



応募方法

- ①市公式LINEに「クイズに挑戦」と送信してください（クイズの回答フォームが返信されます）。
- ②全問正解した方には、後日写真応募フォームのURLを返信しますので、下記条件をご確認のうえ画像を送信してください。オリジナル表紙は完成次第、返信させていただきます。（※返信までお時間をいただく場合があります。ご不明な点がある場合は広報広聴係 28-8005 までお問い合わせください）。

写真応募条件

今回の企画では、受け付ける写真を「食をテーマとしたもの」に限定させていただきます。「家族で食卓を囲む様子」や「友人と外食したときの写真」などすてきな写真の応募、お待ちしております。

応募期限 2月28日(火)